

(1) 単元名： 小数の計算

(2) 本時の目標： 小数 × 小数

☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。

(時間単位 0:00 分)

【 授業参観日 】 5月14日奥間小学校授業参観日。教頭先生からの電話でついでに主事も参観くださいとの依頼を受け、前日にK先生にビデオカメラを入れたいので算数の授業でできませんかと依頼したところ、素晴らしい授業を拝見させていただきました。DVDでも確認できるのですが、K先生のほんとの日常がうかがえます。さらに5月のこの時期にこれほどの「学び合い」「支え合い」が実践できている奥間小学校のすべての先生方に敬意を表します。



特に身構えることもなく、授業は淡々と始まる。前時までの小数×整数の確認をし、さっそく本日の課題に入る。書き始め(1:00)

4:20 課題の確認(読み合わせ) 小数 × 小数 であること。

本時の【めあて】の板書

6:00 各自、ペア等で解答に取り組む。式 【  $1.3 \times 0.8$  】

6:00~ この段階で児童は各々進めるが、「訊き合う」「支え合う」が日常化していることがはっきり確認できる。「分からない」ことは「訊く」し、「訊かれたら」→「一緒に考えてあげる」。呆然とする仲間への声掛けも、気軽に交わされている。すでに「分かり合う、支え合う」学級の空気を感じる。



4月当初より、村内や名護市の学校をいくつか訪問させてもらっている。「学び」の研究が「どう引き継がれているか？」私個人の目的もある。しかし、当初よりうれしい事実の確認ばかりである。ここでも、教師たちによる「学び」の研究と努力は、明らかに子ども達によって引き継がれることを確認できた。



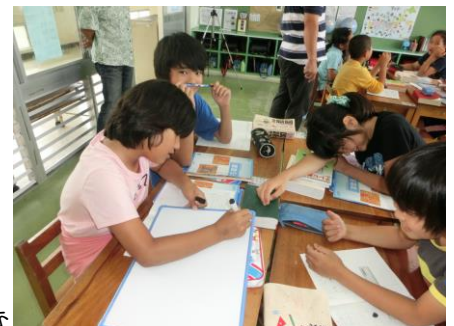
8:20~ グループへ 教師：「やり方について情報交換してごらん。」



どのグループも、どの子も仲間と溶け合っている。自分の「ちょっとした気づき」を語り「ちょっとした不安を」語り。訊かれたら寄り添い、弱気なる、困り感のある仲間には手が差しのべられ、仲間を大切に絶対にあきらめない。見守る教師の姿。教室の子ども達の息遣いがひしひしとを感じる。写真やビデオに写せない空気がある。

9:50 ~ ホワイトボードが配布され共有の準備がされる。

1.2×0.8の計算の仕方である。この状況、リーダーが音頭を取って「皆の考えをまとめる」活動ではない。一人一人の考えの最良を記してく作業である。リーダーはいない！どのグループも解答の示し方が全然違う。だからいい。当然間違いもあることは前提である。教師は正解を書きなさいとは言っていない。「あなた達の考え方を書きなさい。」としか指示しない、それでいいのである。もし間違いのボードがあったなら最高の共有課題となる。



▲グループにしてもボードには個人の考えを書かせるとよい。シンキングボードとしての活用を進めたい。



29:00 ~ 【全体による共有】

各グループによる「考え方」の説明である。



[ 2グループ ]

1.2×0.8は、1.2は0.1が12個。0.8は0.1が8個  
0.1が(12×8=96)。96÷100=0.96 になります。

[ 4グループ ]

1.2×0.8=12×8÷100=0.96

整数かける小数の時は÷10だったけど、小数×小数の時は2つ10倍したので÷100にしました。

すばらしい共有になった。数学的に答えは同じである。しかし考える筋道や表現の仕方にはいろいろある。みんな違うから共有の価値が生まれる。

▲ 間違いをみんなで正していく共有もありである。

【 聴き合う 】



写真①



写真②

【 訊き合う 】



写真③

学び合う授業の中で最初に築かなければいけないルールである。

写真①は、「分ろうとして聴く」発表する仲間に向けられた聴く側の眼差しである。教師と仲間がちゃんと聞いてくれるから私も語れる写真②である。すばらしいクラスだ。村内の各学校に「聴き合う」が学級に表示されてるが、飾り物にしてほしくない。

「分からない」ところはまず仲間に訊く。訊かれたら一緒に考えてあげる・説明してあげる。この関係づくりができれば、大概の課題はクリアできる。依存できる子は必ず自立できる（佐藤学）。

【ジャンプの課題】 35:00 ~ [ 21.5×4.45 ]



ジャンプの課題が出された。子ども達は興味深々である。やりがいがある。問題文も、教師がとっさに考えた文で子ども達の興味を引いた。教師のうまさでもある。

出題されてすぐに

「21.5が→10倍 4.45が→100倍  
だから÷1000になる？」あるグループからのつぶやきであった。



結局、時間が来て最後の解答まで至らなかったが、難しい課題に、難しい顔して楽しそうに取り組む姿に安心をおぼえる。

【 他の教室でも「学び」が引き継がれる 】

今日は保護者対象の授業参観日である。この字型の授業形態がかなり保護者にも浸透してきた感がある。



3枚の写真。5年生以外の教室でも教師達

による挑戦は進められる。子ども達は安心して互いに「分からない」ことを「訊き合って」いる。しっとりと静かな空気が教室を包む。新任赴任の先生方にとっては、まだまだ不安で懸念されることは多々あると思う。教師も互いに大いに語り合い、「みんなでやろう。みんなでがんばろう。」の意識を高め、「不安である」ことの払拭を心がけてほしい。奥間小学校の更なる同僚性の構築に期待します。

K先生ありがとうございました。すばらしい学級、美しい「学び合う」姿を拝見させていただきました。いつも謙虚な姿勢を崩さないK先生。先生の姿勢がそのまま慎み深い子ども達の「学び合い」に映し出されているのではないのでしょうか。

右の写真。仲間や先生のお話を聴いているときの教室の仲間達です。一人も取り残される子が無く、みんな「聴き合い」みんなが「支え合う」ほんとにすばらしい学級です。『「話す」行為は、「聴いてくれる」行為の根拠に裏付けられている。表裏一体である。』

(石井順治)



国頭学びの会ゆい